

第 18 回 全国抑制廃止研究会 福岡大会のご案内

大会テーマ 抑制廃止宣言の地 福岡で原点に立ち返る

期日 平成 28 年 11 月 3 日（木曜日・祝日）午前 10 時 00 分～午後 5 時 00 分

会場 九州大学医学部百年講堂 福岡県福岡市東区馬出 3-1-1

主催 NPO 全国抑制廃止研究会

後援 予定 厚生労働省 福岡県慢性期医療協会 福岡県 福岡市
福岡県社会福祉協議会 福岡市社会福祉協議会

定員 500 名

参加費 会員施設職員 3000 円 非会員 5000 円（昼食付）

問い合わせ先：全国抑制廃止研究会事務局：Tel0422-76-6636 Fax0422-76-6635

担当 細井、松岡

ご挨拶

1998 年 10 月、福岡で抑制廃止宣言が発表され、今年で 18 年が経ちます。それから、現在までの間、介護保険制度が施行され、多くの高齢者に介護サービスが行き届くようになりました。また、この抑制廃止福岡宣言がひとつの契機となり、介護保険下での身体拘束が原則廃止となりました。

私たちは福岡抑制廃止宣言以降、抑制をしない看護・介護を実現するために活動してきました。しかしながら、その道のりは平易なものではなく、介護報酬の削減や患者・利用者の重篤化、介護人材の枯渇など、様々な外的要因も重なり、三步進んでは二歩下がるように歩を進めております。事業者だけでは解決できない課題は、行政にその役割を果たしてもらうよう強く求める一方、我々自身も手を拱くだけでなく、例え少しずつでもできることを実践し、高齢者への看護・介護がより良いものになるよう取り組まなくてはなりません。

今回は「抑制廃止宣言の地 福岡で原点に立ち返る」をテーマに、私たちがどのような思いで抑制廃止に取り組むことにしたのか、抑制廃止を通じて何を実現しようとしているのかを考える場とし、抑制廃止実現のために実践的な知識や技術を身に付けられるようなプログラムを用意しました。抑制廃止宣言の当時を知る従事者はもちろんのこと、若い方々にも抑制廃止宣言の想いを感じてもらい、それが各事業所で実践できるような大会にしたいと考えております。ぜひ有意義に今大会を活用してください。

平成 28（2016）年 9 月吉日

特定非営利活動法人 全国抑制廃止研究会

理事長 吉岡 充

第 18 回 全国抑制廃止研究会 福岡大会 プログラム

開催日 平成 28 年 11 月 3 日（木・祝日）午前 10 時 00 分～午後 5 時 00 分
会場 九州大学医学部百年講堂 福岡県福岡市東区馬出 3-1-1
主催 特定非営利活動法人 全国抑制廃止研究会
後援予定 厚生労働省 福岡県 福岡市 福岡県慢性期医療協会 他（予定）
定員 500 名
参加費 会員施設職員 3000 円 非会員 5000 円 （昼食付）

抑制廃止宣言の地 福岡で原点に立ち返る

11 月 3 日（木・祝日）

（以下、予定）

- 10:00 開会式
開会挨拶および基調講演 全国抑制廃止研究会 理事長 吉岡充
- 10:30 全体講演 I 講師 日本慢性期医療協会 会長 武久洋三 先生
- 11:15 全体講演 II 講師 原土井病院 理事長 原寛 先生
- 12:00 昼食
- 13:00 選択プログラム
1. 分科会講演 福本京子（有吉病院 看護・ケア部長）
「認知症、BPSD、介護拒否～その理解とケア（介護・看護・リハビリテーション向け）～」
 2. 分科会講演 林田俊弘（NPO ミニケアホームきみさんち理事長、（有）自在取締役社長）
「虐待防止・抑制廃止・不適切ケアの芽を摘む～『鼻めがねという暴力』から～」
 3. 分科会講演 本多 勇（武蔵野大学通信教育部教授、介護老人保健施設太郎支援相談員）
「高齢者サービスにおけるコミュニケーション・接遇を振り返る ～スピーチロックに気づく～」
 4. ワークショップ（看護・介護職向け）
「介護現場のトリアージ」
 5. ワークショップ（管理者向け）
「抑制廃止を実現させるためのトップの役割～チームのケア力・組織で取り組む 1～」
 6. ワークショップ（スタッフ向け）
「ケアの質をチームで高めるには～チームのケア力・組織で取り組む 2～」
- 16:00 特別講演 「新聞記者から見た抑制廃止宣言」
講師 西日本新聞社 田川大介
- 17:00 閉会